

報道関係者 各位

令和4年2月1日

【照会先】

健康局 健康課 地域保健室

室長 竹之内 秀吉(内線 2332)

指導係 (内線 2335)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2190

第74回「保健文化賞」の募集について

第74回「保健文化賞」の募集が開始されましたので別添のとおり情報提供します。

「保健文化賞」は昭和25年に制定以来、第一生命保険株式会社が主催し、厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団の後援により毎年継続して実施しています。

保健文化賞

主催：第一生命保険株式会社

後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団

保健衛生向上のために・・・

「保健文化賞」の創設

第一生命は、生命保険業を通じた社会への貢献とともに国民の皆さまの健康・保健衛生の向上に努めています。当賞は、保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設。おかげさまで今年74回目を迎えます。厚生労働省などの後援を得て毎年実施し、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を表彰しています。



近年では・・・「高齢者支援」「障がい者福祉」「メンタルヘルスケア」などに取り組む、NPO法人なども多く受賞されています。

受賞者の方々は
天皇陛下の拝謁をお受けいただいております、
権威ある賞として高く評価されています。

過去の受賞者様ご紹介

受賞年 (受賞回)	受賞者名	受賞分野	功績
2008年 (第60回)	＜個人の部＞ 大谷 貴子さん	難病・ 障がい者 保健	慢性骨髄性白血病に罹患し、骨髄移植を受けた経験から、骨髄バンクの設立に尽力され、システムの整備と並行して国民へのドナー登録の啓発活動を精力的に行い、骨髄バンクの推進に貢献。
2015年 (第67回)	＜団体の部＞ 一般社団法人 震災こころのケア・ ネットワークみやぎ	精神 保健	東日本大震災により被災された方々へのアウトリーチ型支援を核として、孤立しがちな被災者に対し、サロン活動等により“出会い・つなげる”場を作るなど、様々なこころのケア活動を行い、関係機関との連携を図りながら、被災地域住民に寄り添った包括支援の体制づくりに貢献。
2018年 (第70回)	＜団体の部＞ 特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト 京都	難病・ 障がい者 保健	発達障がい等の子どもたちのために、自宅での訪問ヘアカットなどを行い、障がいの特性に応じ段階的にヘアカットに慣らしていく活動を行い、美容の面からバリアフリー社会の構築に貢献。



原敬造 代表理事

赤松隆滋 理事長

保健衛生の分野で活動されている方に贈る 第74回「保健文化賞」 募集要項

第74回保健文化賞は、2022年2月1日(火)から4月15日(金)まで募集しています。
ご応募・ご推薦をお待ちしています！

対象となる方

- 健康増進・疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者支援の保健福祉分野、少子化対策等、地域に密着した地道で身近な活動や実際的な活動をされている団体・個人
- <団体> 原則として10年以上(※)の活動実績がある団体
- <個人> 原則として年齢50歳以上で、原則として10年以上(※)の活動実績がある方
(※) 団体・個人とも、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。

応募にあたっては必ず推薦者が必要となります。その他、表彰歴等によりご応募いただけない場合があります。
詳しくは募集要綱をご覧ください。

応募方法

- 規定の応募調書にご記入のうえ、下記に現物は郵送、ワードデータはEメールで送信ください。
(応募用紙は当社オフィシャルホームページよりダウンロードできます。 ※2022年2月1日～HP公開)

郵送先：〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1

第一生命保険株式会社コーポレートコミュニケーション部社会貢献推進課 保健文化賞担当

Eメール：hobun1950@daiichilife.com

- 応募締切：2022年4月15日(金) ※当日消印有効
- 審査・発表：9月上旬

表彰等

- 受賞者全員(15組程度)に以下をそれぞれ贈呈します。
 - ・厚生労働大臣賞(表彰状)
 - ・第一生命賞(感謝状、賞金：団体200万円、個人100万円)
 - ・朝日新聞厚生文化事業団賞(記念品)
 - ・NHK厚生文化事業団賞(記念品)



1950年(第1回) 贈呈式

募集要綱・応募用紙は当社オフィシャル
ホームページに掲載しています。



第一生命 保健文化賞

検索



<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>